



学ぶことの意味 ～ コロナの時代に ～

2度目の臨時休校も6週目に入りました。『カラマーゾフの兄弟』を2回読めてしまえるぐらいの期間でしたが、皆さんはどのように過ごしていましたか。本はたくさん読みましたか。新聞やテレビのニュースを見て、世の中のことについて考えていましたか。

この間に、新型コロナウイルスに関してさまざまなニュースが流れました。

外出禁止令が発令され住民が隔離されたフランスでは、医療従事者や自分たちの生活を支えてくれる全ての人たちへの感謝を込めて、毎晩8時に人々が窓やバルコニーから顔を出し、拍手や声援を送る習慣ができたそうです。イギリスでも同様の運動が広がりましたし、イタリアでは戦場のように熾烈を極める病院の屋上で、医療従事者を励ますためにバイオリンを演奏する日本人女性の姿が世界中の感動を呼びました。ブラジルでは、外出できない人々を慰めるため、トラックの荷台でピアノを演奏しながら街を流している人の姿がありました。日本でも、休校で生まれた時間を使って中学生や高校生がマスクを作って、介護施設や保育園に届ける姿がテレビで報道されていました。私は、「この世はときどき美しい」というジャック・プレヴェール（1900-1977 仏詩人）の言葉を思い起こしました。

天にましますわれらの父よ
天にとどまりたまえ
われらは地上にのこります
地上はときどきうつくしい

（「われらの父よ」 小笠原豊樹訳）

たとえ困難な状況でもこの世界を生き抜こう。世界はときどき美しい。そう思います。

しかし一方で、ある国では外出している人を警官が棒で叩いたり、別の国ではマスクを着用していない人を床に押さえつけたりしている映像も流れました。日本でも「自粛警察」なるものが出現し、営業している店のガラスを叩き割ったり、張り紙や落書きあるいはネットで罵詈雑言を浴びせたりしています。恋人が手をつないでいるのを糾弾し、子どもが公園で遊んでいるのにさえ目くじらを立てて110番通報する人がいるそうです。自粛のストレスのせいか、不寛容や暴力（言葉によるものを含めて）がはびこっています。また、医療従事者がいわれない差別や偏見、中傷を受けていることも報道されています。先日、新聞を開くと『『コロナ運ぶな』 除菌スプレーかけられた 忙殺 罵声 涙の配達員』という大きな見出しが目に飛び込んできました（5/18 道新）。ネット通販などの荷物で多忙を極め、ただでさえ疲弊している配達員に罵声を浴びせ、ドアを開けていきなり除菌スプレーをかける人がいるということです。悲しいですね。新型コロナウイルスへの恐怖と不安が、人の心を変化させているのだと思います。（裏面に続く）

新型コロナによる変化といえば、政府の専門家会議から「新しい生活様式」の提案がありました。生活様式が変わるということは、これまでの文化や世の中の在りようが変わるということです。一説には14世紀中頃のペスト大流行がヨーロッパの中世にとどめを刺し、ルネサンスが始まる一つの要因となったといわれています。もちろん、当時と比較することはナンセンスですが、この新型コロナの世界的流行を契機に多少なりともこれからの世の中は変わっていくでしょう。よりよい未来を拓くために、今回明らかになった社会の諸相、例えば、貧困、格差、分断といった問題について私たちは真剣に考えていかなければなりません。世の中のことを考え、深く理解し、他者とともに生きていく力を付けるために、皆さんは学校で学んでいるはずです。受験のことで焦っている人も多いと思いますが、腰を据えてじっくり学習に取り組んで、ほんものの学力を付けてほしいと心から願っています。

ちなみに、先ほど一節を引用したプレヴェールの詩は、

大砲の鋼^{はがね}の中で腐^{くさ}ってゆく貧乏^{わらわ}の藁^{わら}。

という句で閉じられています。自由と平和、平等な社会を希求する詩人のアイロニーです。皆さんはどう考えますか。 (『プレヴェール詩集』小笠原豊樹訳、岩波文庫)

○学校再開に向けて

1 生活のリズムを整えよう

長く休校期間が続いたので生活のリズムがくるってしまった人もいるでしょう。規則正しい生活習慣を取り戻し、6月1日からの学校再開に備えてください。

2 課題の仕上げに取りかかろう

休校中の課題は終わりましたか。学校再開まであとわずか。まだ終わっていない人はラストスパートをかけてやり遂げよう。課題への取り組み状況は、各教科担任の評価を受けて、仮評定(進学・就職用調査書に記載される成績)に反映されます。

3 学習レコーディングで振り返ろう

学習レコーディングをもとにこの期間の学習状況を振り返り、課題があれば改善しよう。なお、学習レコーディング表は6月1日朝のSHRで集めます。

4 体調管理もしっかり

毎日2回体温を計り、健康観察シートをつけてください。風邪の症状が出ていたり、体調が悪い人は登校しないでください。出席停止の扱いになります。

○「新しい生活様式」の学校での実践について

- 1 密閉・密集・密接を避けよう。休み時間のトイレや廊下は特に注意が必要です。
- 2 ソーシャル・ディスタンス(フィジカル・ディスタンス)をとろう。
- 3 マスクは必須。こまめな手洗い、うがいを励行しよう。
- 4 昼食は、机をつけず自分の席で、前を向いて黙って食べよう。

